

## 2021年度第2回5月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2021年5月
2. 開催の場所 各委員に資料を郵送して番組をお聞きいただき、  
意見・感想を返信してもらう形式で開催
3. 委員の出席 委員総数9名  
返信総数9名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	白幡冬彦
	委員	古口 悟
	委員	富田哲夫
	委員	大森玲子
	委員	石松英昭
	委員	大出正志

#### 4. 議 題

(1) 「F i v e S」(ファイブ エス)

毎週金曜 5:30～5:45 4月9日～5月14日放送分

(2) その他

## 5. 議事内容

### (1) 「Five S」(ファイブ エス)

番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴していただいた

議題説明：DJ宇治田みのるが「surfing」「skating」「snowboard」「sound」「street」の5つの「S」について様々な情報を音楽を交えながらトークする番組。

各委員からは、

- オープニング、曲、テーマトークなど上手に構成されている。語りもテンポよく元気があって、若かりし青春時代が蘇り、懐かしい気分到了れた。独特な価値観と体験からの話題や選曲、チョイワルの語り口は味があり良かった。
- 自社オリジナルと感じさせない番組で長所短所あった。FM番組のようで、これまでのAMの既成概念を打ち破る番組。新たなリスナーを獲得していくうえで、挑戦を評価したい。FMと同じ音質で放送できるようになったメリットを活用している。一方、栃木感が全くないので地域性を難じない。もう少し若い世代にも聴きたくなるよう内容を狙えないか。放送時間の早さも気になる。
- 様々な内容の番組があることは視聴者の幅を広げるのに有効と思ので、編成的には良い内容と思う。
- 15分という時間の中にスポーツや音楽などの情報があり、ながら聴きするにはちょうど良い感じの番組だった。リスナーは限られてしまうかもしれない。
- 5つのSを無理して設定しているため内容が散漫になっている気がする。パーソナリティをよく知らないで魅力が良くわからない。本業のDJを打ち出して年代別・テーマ別の選曲で音楽性を追求するか、サーファーとしての経験談やサーフィンの技術などを掘り下げた内容にした方が良いのではないか。
- 洋楽中心で店舗もあり、車中で聞き流すには最適な番組だった。しかし放送時間が早朝でどれだけのリスナーに届いているか疑問。幅広いリスナーに聴いてもらうためには様々な局の内容も検討すると良いと思う。
- 5Sの情報が数多く提供され、軽快な進行とともに心地よい番組だった。FM局に近い番組で「ながらリスナー」には非常に良いのではないか。他局からの評価が高いのも納得できる。選曲よく、若い世代に受ける番組であると感じられた。

○短い時間の中でテンポよく話題があり、聞きなじみのある曲がかかるなど、どこか懐かしく親しみやすいと感じた。聴取者の年齢層を考慮した番組作りと感じた。

○週末の朝、軽快な音楽とポップなテーマで、それぞれの楽しい休日の過ごし方を自然と連想させ、それに向けた金曜日の仕事への活力を養える良い番組だと思う。5つのテーマは若い人向けだが、DJが比較的年配であるため、中高年が聞いても特に違和感を感じない。むしろ身近に感じて好感が持てる。もっとリスナーが聞きやすい時間帯に放送出来ればもっと良い。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

## (2) その他

### 6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

### 7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

- ① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」  
(2021年6月20日(日) 午前8時5分放送)
- ② 当社のホームページに掲載(2021年6月16日～)
- ③ 当社事務局に議事録備え置き(2021年6月16日～)

以上